

科目番号	1 2 0 9	領域区分	感染制御学領域／滅菌供給管理学領域		
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数	
1 ・ 2	後期	選択	1	1 5	
授業科目名 (英文)	実践感染制御学Ⅱ【医療機器・消毒薬等の管理論】 (Advanced practice in infection prevention and control Ⅱ： Management of medical instruments and disinfectants)				
担当教員名	岩澤 篤郎				
授業の概要及び到達目標					
○概要 本科目では、臨床現場の感染制御において重要な滅菌・消毒洗浄機器および消毒薬に関して、製造現場の見学を通じて多角的に学ぶことを目的とする。機器は、設計、組み立て、出荷までの管理特性・管理方法の学習、消毒薬をはじめとする医薬品は、製造過程の無菌環境の維持管理方法を学習する。このような学習・体験により、より深い感染制御技術・実感を学ぶ。 ○到達目標 ✓ 滅菌機器・消毒洗浄機器・消毒薬に関して、製造販売側の視点から説明ができる。 ✓ 製造工程の各過程の意味を考えた実使用の方法を構築できる。 ✓ 企業側の品質保証システムを理解することができる。					
準 備 学 習 等					
自施設で使用している滅菌機器・洗浄消毒機器及び消毒薬の使用方法等に関して把握し、参考図書にあげたガイドラインを事前に学習した上で講義に臨むこと。					
成績評価の方法	出席状況 30%と見学レポート 30%、まとめのプレゼンテーション 40%で総合的に判断する。				
テキスト	テキストは指定しないが、適宜関連資料を配布する。				
参考図書	医療施設における消毒と滅菌のための CDC ガイドライン 医療現場における滅菌保証のガイドライン				
備 考	○講義主体ではなく、製造現場への見学実習を基にした授業です。医療現場で汎用されている滅菌機器、洗浄消毒機器、消毒薬に関しての基本的な知識を有していることが前提になります。 ○オフィスアワーは事前予約の上対応します。 ○見学実習後のレポートは、まとめのときに返却します。				

授 業 計 画

第 1 回：医療機器とは

滅菌・洗浄消毒機器の概要を説明した後に、データに基づく評価に関して討議する。

第 2 回：医薬品としての消毒薬

医薬品としての消毒薬の概要を説明した後に、データに基づく評価に関して討議する。

第 3 回～第 6 回：施設見学

1.2 箇所の医療機器製造現場、消毒薬を含む医薬品の製造現場を見学する。

第 7 回：施設見学後のディスカッション及びプレゼンテーションの準備

施設見学後、フリーディスカッションで各自の論点を明確化し、まとめのプレゼンテーションの準備を行う。

第 8 回：まとめ

各自のプレゼンテーション後に全体を総括する。